

医療倫理小委員会で承認された治療法

当院の医療倫理小委員会にて、下記の医療が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることは一切ございません。

この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

実施内容	心疾患患者における徐脈性不整脈に対するプレタール錠内服
対象者	心疾患患者のうち徐脈性不整脈を来した患者
承認日	2024年3月6日
対象期間	承認から永続的に使用
概要	<p>【目的・意義】</p> <p>徐脈性不整脈は、心拍数が異常に低下する状態であり、場合によってはめまいや失神を引き起こすことがあります。これに対し、シロスタゾールは心拍数を増加させる作用があり、徐脈性不整脈の治療に有効です。通常、シロスタゾールは血小板凝集抑制剤として使用されますが、その副作用として心拍数の増加が見られるため、特に徐脈性不整脈の患者に対して使用されることがあります。当院では、循環器内科および心臓血管外科の医師による適切な診断と評価のもとで、徐脈性不整脈の患者に対してシロスタゾールを使用することを認めています。</p> <p>【想定される不利益と対策】</p> <p>シロスタゾールの使用により、血小板凝集抑制作用が強まり、出血リスクが増加する可能性があります。また、心拍数の過剰な増加により動悸や高血圧が生じることがあります。そのため、患者には定期的に血液検査を行い、出血傾向の有無を確認します。また、心電図モニターを使用して心拍数やリズムを継続的に監視し、異常が認められた場合には速やかに投薬の中止や調整を行います。さらに、患者に対しては、薬の効果とリスクについて十分な説明を行い、同意を得た上で治療を進めます。</p>
お問い合わせ先	順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部 医薬品情報室 大代表 03-3813-3111